

Ⅲ 企画展要項

企画展名 かがしま近代文学館企画展

「没後 30 年 山口誓子展～伝統の中から新しい俳句を～」

趣 旨 鹿児島にルーツを持ち、近代俳句に大きな足跡を残した俳人・山口誓子（1901-1994）。中学時代を過ごした樺太を題材にした句で「ホトトギス」の新鋭として頭角を現した後、大阪の住友合資会社に勤務しながら都会的な新しい素材を使った句や連作俳句を発表し、新興俳句運動を牽引しました。しかし、肺を患った誓子は、三重県の伊勢湾沿いで 10 年を超す転地療養生活を送ることになります。自然に囲まれて自己と対峙する日々は、おのずと作風を変化させました。

戦後は、「芸術ではなく芸である」と批判された俳句の復活を志して「天狼」を主宰し、「根源俳句」を提唱。「朝日新聞」俳壇欄の選者も長く務め、昭和俳壇に貢献しました。健康が回復した 60 代以降は、日本全国のみならず海外にも積極的に足を運び、旅先の風物を句にしました。

92 歳で没するまで創作者として真摯に俳句と向き合った誓子。本展では、2024 年 3 月に没後 30 年を迎える山口誓子の生涯と作品を辿ります。

会 期 2024 年 1 月 25 日（木）～3 月 25 日（月）53 日間

休館日 火曜日

開館時間 9 時 30 分～18 時（入館は 17 時 30 分まで）

会 場 かがしま近代文学館常設展示室 2 階

観覧料 大人 300 円（240 円）、小・中学生 150 円（120 円）

※（ ）内は 20 名以上の団体料金

※常設展示もご覧になれます。年間パスポートもご利用になれます。

展示構成（案） プロローグ 山口家のルーツ・鹿児島

1. 少年時代 樺太へ
 2. 学生時代 京大三高俳句会と東大俳句会
 3. 大阪時代 ホトトギスの四 S から新興俳句運動へ
 4. 三重・療養時代 句作鍛錬の日々と「天狼」創刊
 5. 兵庫時代 旅へ
- エピローグ 虹の環

関連イベント ※参加には常設展示観覧券（一般 300 円）が必要

①講演会「山口誓子を知る（仮）」

講師 米田恵子氏（神戸大学山口誓子記念館／誓子・波津女俳句俳諧文庫）

日時 2024 年 3 月 9 日（土）14 時～15 時 30 分

場所 文学ホール（2 階）

定員 100 名（先着）

申込 電話または申込専用ページから

2024 年 1 月 13 日（土）～開始

②朗読の時間「『星恋』朗読会」

日時 2024 年 3 月 24 日（日）14 時～（1 時間程度）

場所 本のひろば（常設展示室 1 階）

定員 20 名（先着）

内容 文学館の朗読ボランティアが『星恋』（俳句＝山口誓子、随筆＝野尻抱影）を朗読します。

申込 電話または申込専用ページから

2024 年 2 月 24 日（土）～開始

③ギャラリートーク

日時 2024 年 2 月 3 日（土）13 時 30 分～

場所 企画展会場（常設展示室 2 階）

定員 10 名程度（当日先着）

内容 学芸員が展示内容を解説します。

問合せ かがしま近代文学館

〒892-0853 鹿児島市城山町 5 - 1

Tel 099-226-7771 Mail kinmeru3@k-kb.or.jp

担当：大津